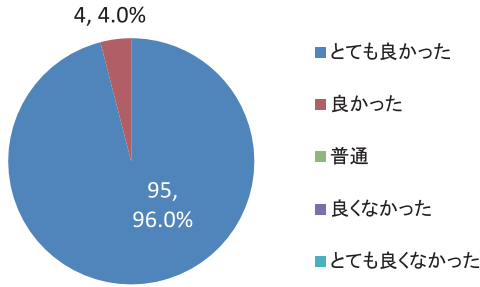


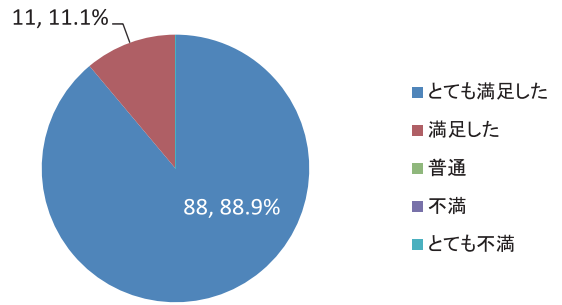
平成28年度 へき地校体験実習 事後アンケート (平成29年4月1日現在)

実施者：北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センター へき地教育研究支援部門
 実施形式：直前指導もしくは実習手帳提出時に配布
 実施期間：平成28年8月～10月
 対象者：102名（札幌・旭川・釧路校 へき地校体験実習〔夏期〕履修生）
 回答者：99名（回答率97%）

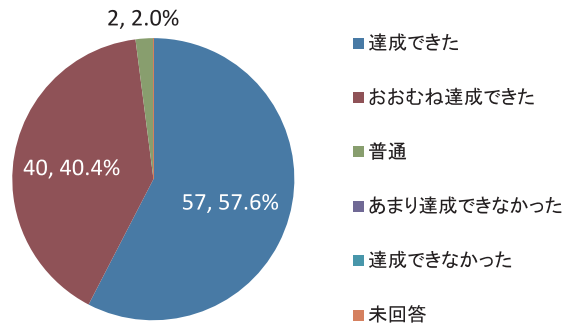
1. 実習に参加してよかったか



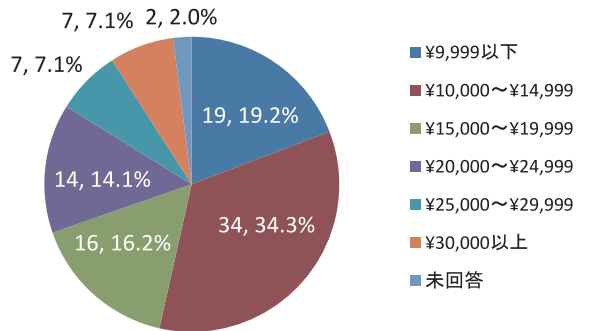
2. 実習の満足度は



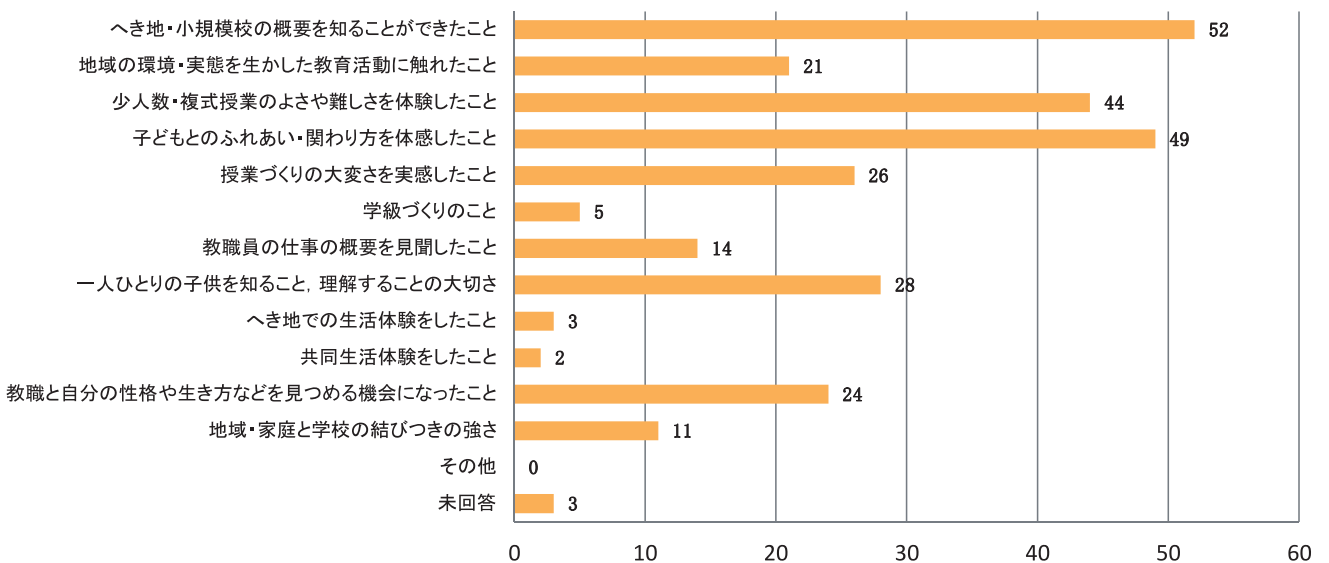
3. この実習で学びたかったことに対する達成度



4. 実習経費



5. 今回の実習で最も大きな成果・学んだこと・感じたことなど(1名2項目回答)



平成28年度 へき地校体験実習を終えて～受講生アンケート

1. 実習を終えた感想

- ・1週間では足りない満足度があった。自分は小学校主免ではないが、小学校の良さと難しさの両方が体験できた。札幌とは異なり、放課後や休日の活動が多く、児童と教師の距離が近かった。地元の方々は温かく迎えてくれるので、面倒なことは何一つなく、本当に充実した活動ができた。
- ・今後に向けてたくさんの課題を見つけることができた実習でした。現場での先生方の行動、言動を観察できたこと、学校教育に関しての講話をしていただいたことなど、学ぶことが多かったです。合宿所での共同生活も、協力する心を育むことができる良い機会でした。
- ・授業でも学級経営でも、先生方は本当によく考えて工夫をしながら取り組んでいることが分かりました。どうしたら隅々まで配慮の行き届いた授業や学級になるのかということに関してヒントを得ることができました。また、校長先生、教頭先生をはじめとして、先生方がみんな温かい人ばかりで、だから生徒も温和な子が多いのではないかと思います。生徒は本当にかわいいです。中学校の先生になりたいという気持ちが強くなりました。
- ・本当に濃密な1週間でした。他の実習以上に全てがぎっしりと詰まっっていて、気持ちとしては3週間は居たような感じになりました。少人数のため、1人1人の名前はすぐに覚えることができ、子ども達からも積極的に関わってくれました。複式の授業は、見ていると難しいと感じたので、実際にやろうとするとさらに細かな部分が見えて、自分の力の無さを思い知りました。
- ・最初はとても緊張していたが、先生方や子どもたちがあたたかく迎えてくださって、とても楽しくてあっという間の1週間だった。自分が育ってきた環境とは全く違う小規模校での体験は、大変貴重な体験になり、教育的な視野が広がった。初めての教壇実習では、反省点が多くあるが、子どもたちに教えることの難しさや、分かってもらえることの喜びを感じることができた。今回の実習で、教職を目指したいという気持ちがより一層強くなった。
- ・へき地校で実習をし、“小規模校は教育の原点”といわれている所以を自分の目で見、感じ、学べることができて良かった。実習校では、異年齢集団での農園活動の様子や、じゃんじゃんジュビリーの活動の様子、地域と児童たちとの関わり合いを見ることができ、その教育的意義など、考えながら様子を見ることができて良かった。自分の考えや指導の仕方など、深めることができ、実習に行くことができて心から良かったと思う。
- ・小学校と違って、中学校は部活指導等があり、勉強になった。部活では、生徒は授業では見せない顔を見せてくれるので、より深い関わりができる。グループ授業がとても新鮮で、へき地校だからこそその授業を多く見ることができた。中学生と初めはなかなか距離を縮めることができななかったが、2～3日で子どもから話しかけてくれて、とても嬉しかった。
- ・今年は2度目のへき地校実習であり、4年目ということで教壇実習もあったので、得るものが多かったと思います。他の学校や今まで受けた指導と比較しながら、良いところや疑問を見つけ、さらに自身の課題を見つけることができたので、今後のためにとっても良い学びが出来ました。また、子ども達との関わりが楽しく、さらに教員になりたい気持ちが強くなりました。
- ・5日間は日々充実していて、とても忙しかったですが、本当に多くの学びと経験を得ることができた。元々、教員志望ではあるが、実習に行き、先生になりたいという気持ちが強くなった。もっと色々なことを経験・勉強して残りの大学生活を過ごしたい。

- ・実習に行けて良かったと心から思える実習だった。子どもたちとの関わり方や学年ごとの授業の違い、授業の展開方法までしっかり学ぶことができた。自分が授業、教壇に立つという意識をもって勉強することができ、さらにへき地特有の学びもできた。本実習前にこうした経験ができたことは大きな意味を持つと感じた。そして、今回の実習で学んだことを忘れずにこれからの講義に臨んでいきたい。
- ・期間が短いので、全てが詰っていて充実していました。また、学校祭の期間だったので、装飾を手伝ったりして、他の学年の生徒全員とも話すことができ良かったです。授業も一日全て見せていただき、英語だけでなく、様々な授業を見ることができました。合唱を一緒にやったりし、そこで生徒との関わりもできてとても良かったです。同じ所に宿泊した実習生とも協力して生活できました。
- ・2年生のうちに、こうした経験ができたのは本当にありがたかったし、貴重な経験でした。5日間という短い期間の中で、生徒と関わり、距離を縮めるにはどうしたら良いか、また職員室の雰囲気はどうなのかを感じることができました。今回の経験で、自分は何が苦手なのか、どんな意識が足りないのかを知ることができ、来年の本実習前に課題を見つけることができ、参加して本当に良かったです。
- ・あつという間の5日間であった。最初は緊張と慣れない環境に、1日をとても長く感じたが、最終日は名残惜しい気持ちと活動の充足感でいっぱいだった。もしもう一度実習に行けるのであれば、恥をかいても失敗しても、初日から積極的に行動するべきであったし、これから実習に行く学生にも、積極性をもって臨んでもらいたい。
- ・“へき地”には“へき地”の良さがあるということに改めて深く感じさせられた実習でした。こんなに、子どもたちと長い時間一緒にいて、こんなにたくさん遊べるのは、札幌では考えがたいことなので、とても良い経験になりました。2年前にも別の小学校で実習をさせていただきましたが、違った角度から学ぶことができたので、4年生になった今、へき地実習に行くことができ本当に良かったと思っています。
- ・初めての实習、初めての離島、毎日充実した生活、あたたかな環境など、たくさんの楽しいこと、おもしろいことがあったが、大変だと思ふこともあった。毎晩あまり睡眠が取れず徹夜になることもあり、体力的には厳しい1週間であった。私は授業をさせていただいたのは1回だったが、子どもたちや教室の様子を観察していると、5日はあつという間なので、あと1週間あればもっと色々なことを学べるのに、と思っている。全体としては、本当にあたたかく勉強になる実習をさせていただき、たくさんの方に感謝するばかりである。
- ・実習校は港が近く人口も多い方だったので、少人数の学校に実習へ行きたい人には物足りないと思う。しかし、子どもたちの雰囲気や特色、学校の制度は札幌とは異なるため、とても勉強になった。先生方がとても優しく親切にしてくださったので、何かに困ったり不便に思ったりすることなく実習を終えることができた。学校から山も岬も海も見ることができ、自然の中で伸び伸びと生活する人々の様子を見ることができる。時間割の仕組みも学校の目標に合っていて、とても勉強になった。
- ・2度目のへき地校体験実習だった。初めて島に行ったのだが、島は温かい人が多く、私たち実習生を快く歓迎してくださった。へき地ということで何も無いのかと思っていたが、観光業が盛んなこともあり、コンビニやサツドラ、飲食店、温泉もあり、不自由なく生活することができた。フェリーターミナルでの見送りは、島ならではの見送り方で感極まった。
- ・今回、教壇実習はなかったが、授業を観察して「ずらし」や「わり」を再確認することができたし、間接授業を成立させる方法を学ぶことができた。また、児童とスクールバスと一緒に登下校したり、お泊まり会に参加して避難所になるという貴重な体験もできて、とても実りある実習であった。

- ・本当に参加して良かったです。施設の方との出会い、子どもたちとの出会い、先生方との出会い、地域の方との出会い、その全ての出会いの中に感動があり、心動かされるものでした。「教師」という仕事は、とても良いものだと思えて感じることでできる1週間でした。
- ・実際にへき地校で生活しなくては分からない細かい部分や様子について深く学ぶことができた。前よりも、よりへき地に興味を持ったし、本当に良い経験をする事ができたと思う。
- ・非常に温かい雰囲気の中で、実習を過ごすことができました。
- ・実習を通して、へき地校ならではの良さをたくさん見つけることができました。特に感じた良さは、「人が温かい、仲が良い」ということです。学校内での人間関係（子ども同士、教師同士、教師と子ども）はもちろん、学校、家庭、地域の結びつきが大変強く感じました。へき地教育についての知識を深めるだけでなく、人とのつながりの大切さを学ぶことができた実習となりました。参加させていただくことができ、本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・へき地の小学校には新入生研修の際に見させてもらったが、中学校に関しては見たことがなかったので、非常に楽しみでした。案の定、先生方と様々なお話ができたし、授業にも参加させてもらったり、観察したり、とにかく充実した実習でした。機会があれば、また訪れたいと思える最高の中学校でした。
- ・特に良い経験となったのは、教壇実習を経験できたこと。うまくはいかなかったが、課題も見えて良かった。教師として子どもと接することで、モチベーションが上がる気がした。
- ・他の実習校に比べると異質な実習校ではあったが、学校祭に実際に携わることができ、心から、滅多にできない体験ができたことに充実感を覚えた。また、最終日には実習校先の生徒とお別れがとても辛く思ったのと同時に、将来は教職の道を志そうと強く決心することができた。
- ・実習に行く前は、楽しみよりも不安の方が大きく、1週間乗り切れる自信はなかったが、実習の毎日は新鮮で勉強になることがたくさんあって、刺激をもらう日々だった。先生として1週間子どもたちと触れ合えるというのは、自分にとってとても良い経験になった。1週間は本当にあっという間で、学校生活の他にも、朝ごはん・夜ご飯の自炊なども自分が成長できるものとなった。3年生の本実習の前に、このような経験ができたことは良かったと思う。
- ・本当に参加できて良かったです。夏休み一番の思い出になりました。自分自身を見つめ直す機会にもなり、今後の大学生活も頑張っていこうと思う今後の活力にもなりました。
- ・模擬授業を経験させていただいたということもあり、「実習」とはどのようなものなのかを身をもって体験することができ、とても為になりました。実習を通して、先生方だけでなく児童からも学ぶことが多くあり、たくさんのことを吸収することができました。学んだことを3年目の教育実習に活かしていきたいと思います。実習に行く前よりも、教師になりたい気持ちが強くなりました。
- ・5日間の中で、楽しいことも大変なこともたくさんありました。初めての实習ということで、不安なことも多くあったのですが、2日目からは毎日児童と会えることが楽しみになり、児童の輪の中で楽しんでいる私がいまいました。この実習は、挑戦する機会が多くあったので、その分学ぶことも多かったです。児童の笑顔や、先生方の優しさに触れ合う中で強くなった教師を目指す気持ちを大切に、今後も精進していきます。
- ・自分はどのように教員になりたいのか、どのような教師を目指すのかなど、自分を見つめ直す実り多い実習となった。特に、プリントや授業構成といった事前の準備の重要性や、発問コミュニケーションの取り方などが、とても勉強になった。

また、生身の児童と直接関わることで、子どもと触れ合うことの難しさを体験し、子どもとの接し方を学んだ。自身の中に新しい見方ができ、成長につながったように感じる。

- ・実習を終えて、5日間で感動する出来事がたくさんあった。教壇実習では、生徒が私の話を真剣に聞いてくれたり、板書を書いてくれたりと、授業に向き合ってくれている姿を見て、力をもらった。教師は大変なこと、苦勞することがたくさんあるが、生徒に力をもらって頑張れることを実感した。
- ・毎日が本当に充実していて、あっという間の1週間でした。周りにお店もなくて、人も少なく、外灯も少ないようなへき地に友達と二人で行って生活する不安や、毎休み時間は子どもと全力で遊び、放課後も少年団等に参加し、帰ってからも授業準備に追われ、体力的に厳しくても、明日また生徒のみんなに会えると思えば、全然苦ではありませんでした。そう思える子ども達との5日間の思い出は、一生の宝物です。
- ・5日間、本当に幸せだったと思う。子どもたちにも先生方にも恵まれて、へき地校をとて良いものだと思えた。ポジティブな面しか思いつかず、ネガティブな面を探す方が難しくなった。これは、行った人にしか本当に分からないと思う。絶対に参加してほしいと思う。
- ・初めての教壇実習に苦戦し、授業作りが自分の思っていた以上にずっと難しいことであるのを実感した。そのこともあり、決して楽しいだけの実習ではなかった。しかし、子どもたちの頑張る姿を見れたこと、子どもたちとの仲を深められたこと、子どもたちの小さな変化や成長を感じられたことがとても嬉しく、実習に来て良かったと思った。以前より、教師になりたいという思いが強くなった。
- ・実習を終えて、自分は少し成長することができたと思いました。授業もさせていただけて、研究授業で他の先生に見ていただいたこと、給食や掃除、朝の会・帰りの会、学級日誌でコメントを書かせていただいたこと、教師の仕事を色々体験させていただいたので、大学では学べないことをたくさん学べた1週間でした。大変なこともたくさんあり、心が折れそうな瞬間も正直ありましたが、とても楽しかったです。
- ・5日間しかないといえども、5週間実習に匹敵するくらい充実していたと感じる。5日間の中で、4回も授業する機会をいただくことができ、実践しながら複式授業の難しさを知ることができたし、先生方の授業を見ることで、自分の授業は何が足りないのかを理解することができた。回を重ねるごとに、少しずつ複式に慣れてきた手応えを感じることができ、良かった。